

実社会対応プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

- ◆課題: 「人口減少社会における多様な文化の共生をめざすコミュニティの再構築」
- ◆研究テーマ: 「人口減少社会における包摂と継承—「最先端」秋田からの提言」

研究期間: H30.10~2021.9
 委託費総額: 12,553千円

<研究代表者>

熊谷嘉隆: 国際教養大学
 アジア地域研究連携機構/教授・機構長



<専門分野> サステナビリティ
 <Webページ> <http://web.aiu.ac.jp/iasrc/>

<研究計画の特徴>



<研究目的・概要>

秋田県は日本で最も人口減少が深刻



外部人材の受け入れと共生により、地域の活性化、地域コミュニティの維持を目指す

- ・介護や農業、観光分野で実践可能な外国人材の受け入れ
- ・伝統行事・地域アイデンティティの継承と外部人材の活用
- ・上記を現場や自治体と連携して調査・検討し、公開シンポジウムなどを通じて広く発信



全国に広がる人口減少問題への対応を、「最先端」で調査・提言。日本の今後の試金石。

<目標とする研究成果>

(1)外国人材の受け入れのあり方を示す

地方での外国人材受け入れの意義を検討し、職場や地域、住民にとって効果的な受け入れの仕組みを提案する

(2)伝統行事の継承に外部人材を生かす

外国人を含む外部人材が、伝統行事や習俗の「核」を尊重しながら、継承・発展に貢献できる方法を示す

(3)人口減少社会の将来像を提案する

新たな人材を受け入れて発展する地域社会の未来像を示す

<将来展望>

秋田にあり、かつ国際化の進んだ大学として、ミッションの一つとしてこのテーマに関する調査・実践を続けていく